

ユーモアスピーチ船橋

2021 (R3) 年 12 月 9 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

181 回船橋ユーモアスピーチ

2021 年 12 月 9 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「1 年を振り返って」、

ロングスピーチ

辻内 京子さん 「ロングスピーチと私」

入江 清之さん

「幕末の三舟のひとり・山岡鉄舟」

11 月 11 日の参加者：常廣、工藤、入江、大塚、中久木、原田、佐々木、長井、飯野、辻内、町田、植野、長嶋
13 名

主催：NPOシニア大楽
ユーモアスピーチ共和国・船橋支部
支部長：長嶋秀治 043-261-5832
発行者：長嶋秀治
編集&事務局：町田雅和
267-0066 千葉市緑区あすみが丘
5-26-7 T/F 043-294-2911
mac555new@ybb.ne.jp
参加費 500 円 (入会金 1000 円)
見学料 500 円
開催日と場所 (原則)
毎月第②木曜日 15:00~18:00
会場 船橋中央公民館 第2集会室
4階

前回のロングスピーチ

「曲紹介に纏わる話」

工藤 文夫さま

○「習志野歌謡シニアーズ」というグループで歌のボランティア活動をするうちに、いつの間にか、会の進行役になったが、折角歌を聴いてもらうなら、プロのように名調子で紹介できる能力もないので、歌の紹介は「へー」と思う話題を調べ始めた。



○ご当地ソングの例 (千葉県の童謡・唱歌の例)

・月の沙漠のモデルの海岸は？・・・御宿 (作詞者の加藤まさおさんが学生時代療養した)

○曲名変更の例 (ペギー葉山の「学生時代」は当初、「大学時代」であった。)

・ペギー葉山が歌の題名の対象が狭すぎるということで、強引に変更した。

○レコード大賞がとれない理由 (坂本九の「上を向いて歩こう」は大ヒットしたのに?)

・坂本九はロカビリーの出身とみなされ、当時は「不良」扱いされ、選考から外された。

○歌詞がおかしい例 (舟木一夫の「高校3年生」のモデルは松陰女子高校なのに内容は「男女共学」)

・作詞者の「丘灯至夫」が取材していた時は、定時制のクラスがあり、共学だった。 etc。。。。

前回のロングスピーチ

「むかし話：葬頭河の婆さ」

常廣 貫次郎さま

仲の良かった老夫婦の爺さんが突然死んでしまった。その後婆さんは、爺さんが、お茶が飲みたかろう、綿入れが欲しかろうと思ひやる。しかし爺さんは閻魔さんの仲人で、葬頭河の婆さ（しょうじがのばばさ：顔は婆さんだが体は 25 歳の女盛り）と結婚するという。婆さんは動転し、口寄せの巫女を通じて夫婦喧嘩を始める。ベベロンという弓の弦の音が効果的に、聞き手に物語の妖しさと滑稽さを引き出して、磨き抜かれた民話の芸を感じさせる話である。



3 分間スピーチダイジェスト

テーマ 「今までにない××」、「願い」

飯野 望：「願い」

おやじより先に寝てもいいから、夕食ぐらいは残しておいて！
 忘れてくれるな、おやじが食べていいものは、賞味期限が切れたもの！
 本気で痩せようと買ったのがヨガマット！それがいつの日か・・・
 昼寝の敷布団！
 忘れてくれるなおやじが家に帰ると、温かく迎えてくれるのは・・・
 トイレの便座だけさ！

工藤 文夫：「今までにない××」

今年亡くなった、私の母の 13 歳下の実弟が、後を追うように、逝ってしまいました。(10/31) コロナ渦の中で、「今までにない葬式」を経験しました。喪主の奥様が参列者を前に、弔辞をとうとう読み上げましたが、余りにも感動的な内容に、思わず涙を誘われました。更に受付に上記の弔辞が再現できる「QRコード」のはがき大の用紙が設置してあり、家に帰って再現出来るようになっていました。(妻に聞かせたら、またもや涙。。) 失礼ながら、そんなに喪主の奥様が文才がある方とは思えないので、喪主の長男に仕組みを尋ねると、依頼すれば、ゴーストライターがおり、生前のご主人の生き様を、喪主の奥様から話を聞いて、あっという間に作成したとのこと。ちなみに QR コードで再生した文章は、プロのアナウンサーが読み上げており、亡くなった本人の遺影と思い出の写真がアルバム形式で再現され、さらに磨きのかかった出来栄でした。今までにない葬式でした。

町田 雅和：「今までにない××」

今までにない落語を調べたら、“三遊亭とむ”が歌舞伎の宙乗りを真似て客席の上を飛びまわっている写真を見つけました。これは「天狗裁き」という落語で天狗が江戸の上空を飛行するシーンをビジュアル化したものです。私も小学生に落語をする場合もっとイメージしやすい工夫が必要と感じました。何しろ今どきの児童は、「ぞろぞろ」という落語に出てくる、浅草に行ったことも、お稲荷さんにお詣りしたこともない子が多いようなので。

中久木 一乗 : 「今までにない体験—モク拾い」

今年の5月31日のWorld No Tobacco Dayから、各地の同志の真似して、新型モク拾いを始めました。良かったことは早朝の道を「歩いて・休んで」の繰り返しで、私の歳には良い運動でした。それに、袋下げて軍手してトングを持っているので、挨拶してくれる人がいるのが嬉しいことでした。

難問は意外にも「吸殻の診断」でした。潰され、砕け、巻紙だけ、フィルターだけになって道に貼りついた吸殻、枯草の中に潜む吸殻、保護色の吸い殻等等です。さらに、ほぼ同じ形の紙や木の枝・葉などの「吸い殻モドキ」にもたびたび騙されました。吸殻診断以外に悩んだのが「拾う範囲の判断」です。歩道上に限定したのですが、縁石の外側、垣根の下、側溝の中にある「色白でスマートな、素敵で魅力的な吸い殻」にはつい手を出したくなります。それを抑える葛藤が大変でした。

入江 清之 : 「ムン・バイ」

韓国は先月国産初の人工衛星を打ち上げたが、当日現地で視察中のムン・ジェイ大統領の許に大気圏突入失敗の一報が入ると即彼はスタッフを集めて、今回は目標未達に終わったが、これから今回の不具合を点検・補修して行けば来年5月の打ち上げは必ず成功すると激励した。だが今回の打ち上げは大統領自身の肝いりプロジェクトただけに、彼の心中もロケット同様に不完全燃焼でストレスも増えたのでは。韓国は今回の打ち上げ失敗を棚に上げ日本は過去4回も打ち上げに失敗している等ヘイトスピーチしているが、日本は既に50年前に衛星打ち上げに成功しており、先月失敗の未成熟な国に何癖を付けられては、もう、こちらからオサラバだ。「グット・バイ」、「ムン・バイ」

植野 晏生 : 「子供の貧困」

先月「親ガチャ」を話して気づいたこと。今の子供7人に一人が貧困であること。G7やOECDで最悪である。可処分所得の中央値の50%は、月収14万円どまり。原因は1980年以降離婚が増加し、ひとり親が増えたこと。就中シングルマザーが増えたことによるとされている。年収960万円以下の所得制限を設けて18歳以下の子供に10万円を給付するというのは、バラマキもいい処。90%の子供が含まれてしまう。困窮する子供の集中救済と経済の回復は別問題である。

長嶋 秀治 : 「今までにない××」

来週金曜日19日朝(現地18日夜)の大リーグMVPの発表を心待ちにしている。多分大谷選手が選ばれるであろうと期待して。打者として46ホームラン、100打点、103得点、96四球、26盗塁、投手としてチームトップの9勝、156奪三振、防御率3.18と2刀流の大活躍。大谷の活躍はマンガを超える活躍と表現される。マンガでは実際にはありえないような超人的な活躍を描き出すことが出来る。それを現実のものにしたのだから、いくら称賛してもしきれない活躍だといえる。大谷は今までにない大リーガーだ。

予告 : 1月 「船橋ユーモアスピーチの会」

1月13日(木)15時～ 船橋中央公民館 5階 第8集会室
ロングスピーチ

全員参加の3分間即題

スピーチテーマ 「今年の抱負」